

新たな食べもの 「フードテック」を考える

フードテックと呼ばれる新たな食べものが出回り始めました。

代替肉、培養肉、昆虫食がそれです。

開発企業や政府は、フードテックが環境問題や食料問題の解決につながると言いますが、本当にそうでしょうか。食べものとしての安全性に問題はないのでしょうか。フードテック開発の現状と課題についてお話しを伺います。

日 時:2023年2月9日(木) 13:00~14:00

開催方法:オンライン(zoom)での学習会

講 師: 天笠 啓祐 氏

—プロフィール—

1947年、東京都生まれ。早大理工学部卒。元『技術と人間』誌編集者、法政大学・立教大学元講師。日本消費者連盟顧問、現在、ジャーナリスト、市民バイオテクノロジー情報室代表、遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン代表。



なお、当日は、14:05~14:40まで、神奈川県のご担当者さまより、「令和5年度神奈川県食品衛生監視指導計画（案）」についてご報告いただき、意見交換を行います。ご興味のある方はご参加ください（学習会からの連続でも、どちらかでも参加OKです）。

申し込み方法

■お申し込みは、以下のいずれかの方法でお願いします■

①右の二次元コード、もしくは下記 URL から

●<https://forms.gle/55VerTQvKyTut9bYA>

②メール：kanagawakensyoudanren@gmail.com（神奈川県消費者団体連絡会 庭野・佐々木）

※メールには「所属団体名」「氏名」「お電話番号」「資料データ受信可能なメールアドレス」の記載をお願いします。



申し込み締切り 2月6日(月)

主催：神奈川県消費者団体連絡会

<お問い合わせ> 神奈川県消費者団体連絡会 庭野・佐々木まで（TEL：045-473-1031）